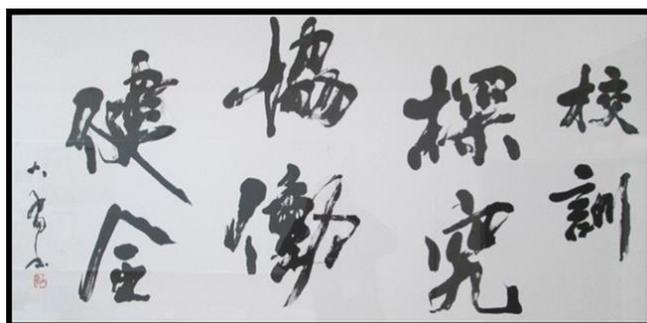


令和6年度



第2回学校運営協議会



日時：令和6年10月16日（水）10:00～11:30

場所：北海道函館高等支援学校 会議室

令和6年度 第2回函館高等支援学校 学校運営協議会

1 日時 令和6年10月16日（水） 午前10時から午前11時30分まで

2 会場 北海道函館高等支援学校 1階会議室

3 本日の予定

(1) 会長挨拶

(2) 校長挨拶

(3) 学校経営方針中間評価【校長】 (別紙)

(4) 地域学校協働活動（HKS サポートーズ）について【教頭・吉田 Co】

(5) その他

〈出席者〉

- ・北海道教育大学函館校 細谷一博
- ・函館市地域包括支援センター 亀田 有川祐樹
- ・株式会社ポラリス代表取締役 中村圭吾
- ・松陰プラザ 喜久川三希子
- ・中小企業家同友会障がい者問題副委員長 小林裕司
(株式会社サンライト代表取締役)
- ・函館市教育委員会 岩井丈
- ・石川町会長 山崎敏昭
- ・桔梗町会長 川井博光
- ・進路卒後振興会顧問 須摩直樹
- ・HKS サポートーズコーディネーター 吉田尚美
- ・渡島教育局 松田夕紀
- ・事務局（教頭） 西田典央
- ・事務局（事務長） 亀山真理子
- ・事務局（総務部長） 蛭沢和音
- ・事務局（記録） 北島美紗

(1) 会長挨拶

中村会長よりご挨拶

(2) 校長挨拶

教頭より校長代理の挨拶

(3) 学校経営方針中間評価

・別紙参照

(意見)

・コーヒーも販売価格が上がるのであれば良いのだろうけれども、価格が上がらなければ学習がままならなくなるので、早いうちに対応が必要なのではないか。

・福祉事業所：毎年、支援学校の卒業生を見ているが、学校先生の評価は適切だと思っている。しかし、本人と家族の自己評価に関しては、実態と乖離しているという課題が挙げられる。先生達から聞く評価より高く認識している。「失敗することに弱い」という課題が挙げられる。学校では、同年代の生徒とともに、一人ひとり充足された環境であるが、卒業後は、あらゆる年代の人が働いており、能力の差もある。自己理解はなかなか難しい課題ではあると思うが、せめて、保護者には理解して同じ方向を見て支援してほしい。保護者会などがあれば、このような現実を発信していく必要性があると感じている。

・ボランティアで関わることがあるが、思った以上に能力があり、自分の思っていた程度と違うと感じている。もっと、いろいろな人や場面で関わる機会を設け、学校や生徒について知ってもらうことが大切だと考える。別件であるが、SNSでの問題は、学校では指導はどのようにされているのか。家庭でもルールやマナーを教えるのも当然であるが、学校でも指導していく必要性があると考えます。

(4) 地域学校協働活動（HKS サポートーズ）について

コーディネーター吉田様より説明

・昨年準備を進め、8月22日に発足することができた。今後研修に参加するなどして進めていきたい。現在の課題として、サポートーズの皆様へのご案内は楽メで学校から送ってもらっている。今後は学校ではなく、サポートーズの方から発信していきたい。しかしながら、予算がない。情報を発信するものがない。今後どうしていこうかと考えている。また、今後卒業生の母らの集まりがあり、卒業生も自分たちの母校を応援したいという話が上がった。すぐにでも準備を進めていきたい。あまり固く考えずに、ゆるく一緒に活動していけたら良い。

・吉田さんにはCSとHKSサポートーズ両輪で架け橋となるようお願いしている。無償でご尽力いただき申し訳ない。

・予算の面でのアイデア、他校の実践を参考とする。

・町会では近隣の小学校の見守りを行っている。本校生徒も参加して小学生との関わりをもってほしい。

(5) その他

・花かいどうでは子供たちに伝えていく活動を続けていきたい。

・10/22からようやく学校の前の横断歩道に信号機がつくことになった。